

【 研 修 内 容 】

研修名

研修日時：令和元年11月14日(木)

「新技術・新工法」

受講対象者：県・市町村職員・測量設計・地質調査・建設業職員等

実施日	研修内容	研修時間	講師(敬称略)
11月14日(木)	<p>「新技術・新工法の活用促進について」</p> <p>・新技術活用システムの概要及び新技術・新工法の活用促進</p>	10:00～10:55	熊本県 土木部 土木技術管理課 参事 前田 栄二
	<p>①道路橋 端部表面防水工法「ブリッジガード」</p> <p>降雨後2～3日たっても 端部舗装表面や伸縮ジョイントぎわに地覆際からの雨水流入が原因と思われる滯水が見られる。冬場の凍結防止剤(塩カル)の散布や 海岸付近での高濃度塩化物イオン等が流入すると舗装体や橋本体また伸縮ジョイントの劣化につながるので雨水流入を道路表面で止め、舗装体や床版への浸透を防ぎ劣化を防止する工法である。</p>	11:00～11:30	(株)アマケンテック 出利葉 敦
	<p>②ケーブルリング</p> <p>路面に直接施工ができ、繰り返し踏まれても破損しにくい柔らかい素材で抜群の「安全性」も兼ね備えています。ケーブルリングHタイプの場合、あらゆる角度から再帰反射を可能なものとすると共に内外が二重に再帰反射する事で立体的に確認する事ができます。</p>	11:35～12:00	(株)サンブレイン 佐藤 隆
	< 昼 食 >	<12:00～13:00>	
	<p>③窓付止水具</p> <p>本技術は、グラウンドアンカーの頭部部材に確認窓を設け、背面止水ゴムを支柱板の上部に配置した技術である。本技術の活用によりアンカー頭部の防錆材充填状況が確認可能となり品質向上が図れる。 NETIS登録番号:KT-180145-A</p>	13:00～13:35	弘和産業(株) 野口 明
	<p>④イージーラーメン橋 (H鋼桁埋め込みRC複合門型ラーメン橋)</p> <p>イージーラーメン橋は、橋梁上部工と橋梁下部工を剛結し、上下部一体構造とした複合門型ラーメン橋です。杭基礎形式の従来橋種(単純橋)に比べて、基礎杭本数を半減することが可能なため、建設コストを縮減することができます。また、低桁高・短工期・維持管理コストの低減などにも対応可能な地産地消型の橋梁です。</p>	13:40～14:15	(一社)イージースラブ橋協会 秋山 剛
	<p>⑤バスク工法 wido</p> <p>「ポリマーセメントモルタルによる既設モルタル面の補修・保護工法」 ポリマーセメントモルタルによる法面のモルタルやコンクリートの表面保護を行います。さらに本材料に最適化された小型専用機により混練、圧送、吹付までの広範囲な一連の 施工が可能で、材料品質、施工効率、安全性、経済性の向上が期待できる工法です。</p>	14:20～14:50	日丸産業(株) 笹原 慎二 渡邊 賢
<p>⑥斜面樹林化工法(生物多様性に配慮した活きた補強土)</p> <p>法面緑化では外来種(外来牧草類や外国産在来種)が広く使われていますが、生物多様性への配慮が求められる地域では、生態系の攪乱防止という観点から注意が必要です。斜面樹林化工法は、国内産在来種による自然回復緑化技術で、根系が発達する木本植物群落を早期に形成させることにより、法面防災と自然再生の両立を図ります。</p>	15:00～16:00	東興ジオテック(株) 吉田 寛	
<p>⑦リサイクルアースグリーン工法(REG工法) (現場発生土の有効活用)</p> <p>災害復旧をはじめとする現場では大量の残土処理が必要になります。リサイクルアースグリーン工法(REG工法)は、こうした現場発生土を植生基材の主材料として活用する資源循環型緑化工法で、施工プラントで現場発生土を土壌改良して植物の発芽・生育に適した植生基材に再生することにより、残土処理量の低減と有効活用を図ります。</p>			

新技術・新工法